

令和7年度行政評価

内部評価報告書

(対象：令和6年度事業分)

令和7年8月

令和7年度 大町市行政評価実施方針

1. 行政評価の目的

平成29年に策定した大町市第5次総合計画基本構想における行財政運営方針に基づき、行政の施策や事務事業（各種市民サービスや公共事業等）を統一的な視点と手段によって、以下の5項目により客観的に点検評価することにより、基本計画の進捗管理と施策の質的向上を図る。

- (1) 市民への説明責任（アカウンタビリティ）の向上
- (2) 効率性の向上
- (3) 経費の縮減
- (4) 質の高い行政サービスの提供
- (5) 職員の意識改革

2. 行政評価の実施方法

(1) 評価方法

①施策評価（5つのテーマ、17施策目標、74施策、286項目）

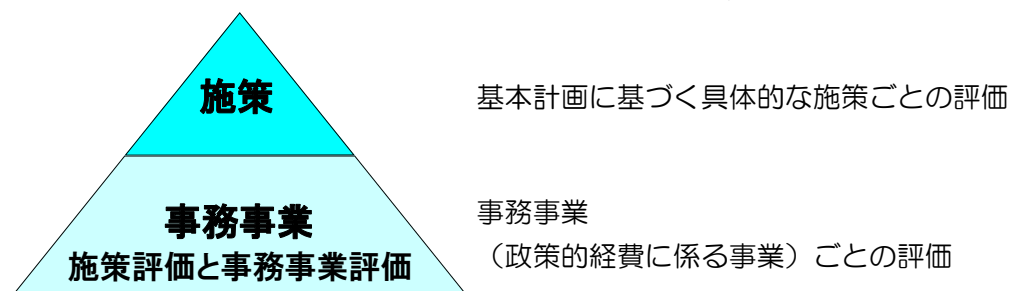
第5次総合計画後期基本計画に登載される施策を対象に取り組みの状況及び進捗状況について点検する。

②事務事業評価

予算書より政策的経費に係る事業を抽出した、事務事業リストにより評価及び今後の方向性について点検する。

(2) 評価対象事業

- ①対象年度 令和6年度
- ②対象施策 後期基本計画に定める具体的な施策
- ③対象事務事業 予算書より政策的な経費を抽出した事業
(企業会計等においては、総合計画に関連する事業を設定)



(3) 内部評価

施策や事務事業ごとに施策評価票及び事務事業評価票（別紙様式）を作成し、担当部課により内部評価を実施する。なお、施策評価票及び事務事業評価票における評価の項目、視点、今後の方向性は以下のとおりとする。

① 施策評価

後期基本計画に掲げた施策について、計画期間である5年間を目途に以下のとおり5段階で進捗状況の点検評価を行う。

【進捗状況評価】

A	順調	D	遅れている
B	おおむね順調	E	未実施
C	やや遅れている		

【実施数】

まちづくりのテーマ：5 施策目標：17 施策項目：74 具体的施策：286
評価数：359

② 事務事業評価

第5次総合計画後期基本計画に掲げた施策に関連する事務事業について、以下の視点で点検評価を行う。

【評価の項目】

項目	評価項目	評価	点数	考え方	
必要性	事業の必要性	高い	3	目的が達成された又は社会情勢の変化に取り残された事業ではないか。	
		普通	2		
		低い	1		
	市民ニーズ	高い	3		ニーズに適応しており、市民にとって必要な事業であるか。
		普通	2		
		低い	1		
有効性	上位施策への貢献度	高い	3	上位施策の目標達成のために有効な事業か。また、他に有効な手法はないか。	
		普通	2		
		低い	1		
	他事業との重複	重複なし	3		他の部局等において事業目的が類似する事業が存在しないか。
		一部重複	2		
		重複あり	1		
効率性	事業の効率性	高い	3	コスト（事業費）に対して期待された効果が得られている事業か。	
		普通	2		
		低い	1		
	実施主体の適正化	適正である	3		民間など外部へ委託することで効率性が向上する事業ではないか。
		改善の余地あり	2		
		適正でない	1		

【今後の方向性】

項目	説明	評価の目安
中止	抜本的な見直しや休止・廃止を検討する事業	3項目ともに合計点が3点以下
縮小	縮小することが望ましい事業	必要性の合計点が3点以下
やり方改善	実施手法を改善する事業	問題や課題を有する又は有効性若しくは効率性の合計点が3点以下
継続	現状通り進めることが望ましい事業	3項目ともに合計点が4点以上かつ全ての評価項目で1点の評価が無いこと
拡大	拡大することが望ましい事業	6つの評価項目の全てが3点又は一部満たないが、改善を加えて拡大
事業完了	当該年度で完了した又は翌年度に完了とする事業	目的の達成や他の事業への統合、市民ニーズの変化等により完了とする(した)場合

※上記「評価の目安」を参考に、今後の方向性を評価する。

(4)内部評価集計結果

(5)施策評価(様式第1号) 施策74 具体的施策286 評価359

第5次総合計画後期基本計画の施策について、進捗状況を評価した。

進捗状況	すべて		ひとつづくりに関する施策		重点施策	
	評価数	割合	評価数	割合	評価数	割合
A	65	18.1%	19	11.1%	24	20%
B	271	75.5%	146	85.4%	8	73.3%
C	23	6.4%	6	3.5%	8	6.7%
D	0	0%	0	0%	0	0%
E	0	0%	0	0%	0	0%

②事務事業（様式第2号） 136 事業

予算書事業（政策的経費）の今後の方向性について評価した。

項目	評価数	割合
拡大	2	1%
継続	120	88%
縮小	0	0%
やり方改善	13	10%
中止	0	0%
事業完了	1	1%

3. 今後の進め方

内部評価については、市ホームページでの公表並びに、実施計画及び予算編成に反映をする。

また、市総合計画審議会にて内部評価結果を基に外部評価を実施する。年度内を目途に答申を受ける予定としており、その結果についても、市ホームページにより市民への公表を行い、予算編成に反映させる。

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち				進捗状況評価				
1 心豊かにたくましく生きる子どもの育成	項目数	評価数	担当課	A	B	C	D	E
①基礎的な学力・体力の向上	6	6	学校教育課	1	5			
②時代の変化に対応した教育の推進	4	4	学校教育課	1	3			
③多様な教育的ニーズのある子どもたちへの支援	4	1	学校教育課		4			
		1	子育て支援課		1			
④豊かな心と健やかな体を育む教育の推進	2	2	学校教育課		2			
		1	子育て支援課		1			
⑤地域とともにある学校づくり	4	4	学校教育課		4			
		2	生涯学習課		2			
⑥教育環境の整備	6	6	学校教育課	1	5			
		1	子育て支援課		1			
⑦地域で育む教育の推進	8	1	企画財政課		1			
		2	子育て支援課		2			
⑧特色ある交流事業の推進	3	8	生涯学習課		8			
		1	学校教育課		1			
⑧特色ある交流事業の推進	3	1	八坂支所		1			
		2	美麻支所		2			
施策： 8	小計	37	47	3	44	0	0	0
2 生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供	項目数	評価数	担当課	A	B	C	D	E
①生涯各期における学習活動の充実	1	1	生涯学習課		1			
②社会教育の充実と活性化	4	4	生涯学習課		4			
		1	庶務課		1			
③多様な分野の学習活動の促進	3	1	企画財政課		1			
		1	生涯学習課	1				
		1	危機管理課	1				
		1	情報交通課			1		
④自由に学び成果を生かす学習環境の整備と連携態勢の構築	4	1	企画財政課	1				
		1	山岳博物館	1				
④自由に学び成果を生かす学習環境の整備と連携態勢の構築	4	4	生涯学習課		4			
施策： 4	小計	12	16	3	12	1	0	0
3 芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実	項目数	評価数	担当課	A	B	C	D	E
①芸術文化の振興	4	4	生涯学習課		4			
		1	八坂支所		1			
		1	美麻支所	1				
		1	観光文化課		1			
②文化財の保護継承と活用	2	2	生涯学習課		2			
③地域の芸術文化の創造	1	1	観光文化課	1				
④山岳文化の振興と活用	2	2	山岳博物館	1		1		
⑤スポーツの振興	4	1	学校教育課		1			
		4	スポーツ課		3	1		
施策： 5	小計	13	17	3	12	2	0	0
施策目標： 3 施策： 17	具体的施策項目計	62	80	9	68	3	0	0

第2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				進捗状況評価				
1 商工業の振興による地域経済の活性化	項目数	評価数	担当課	A	B	C	D	E
①中小企業等の支援と創業支援による地域経済の活性化	5	5	まちづくり産業課		5			
②中心市街地の活性化	3	3	まちづくり産業課			3		
		2	建設課		1	1		
③企業誘致の推進	1	1	産業立地戦略室			1		
④既存企業の育成と振興	2	1	産業立地戦略室		1			
		2	まちづくり産業課		2			
		1	農林水産課		1			
		1	観光文化課		1			
施策： 4	小計	11	16	0	11	5	0	0
2 地域の特性を生かした農林水産業の振興	項目数	評価数	担当課	A	B	C	D	E
①生産と販売の促進	10	10	農林水産課		10			
		1	観光文化課		1			
		1	まちづくり産業課		1			
		1	学校教育課		1			
②農地施策の推進	4	4	農林水産課		4			
		1	建設課		1			
③豊かで多様な森林の育成と地域林業の活性化	7	7	農林水産課		6	1		
施策： 3	小計	21	25	0	24	1	0	0
3 観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進	項目数	評価数	担当課	A	B	C	D	E
①魅力ある観光地づくりの推進	4	7	観光文化課	1	6			
		1	建設課		1			
		1	八坂支所		1			
		1	美麻支所		1			
		1	まちづくり産業課		1			
		1	山岳博物館		1			
②地域の芸術文化の創造	1	1	観光文化課	1				
施策： 2	小計	5	13	2	11	0	0	0
4 移住・定住促進策等の充実強化	項目数	評価数	担当課	A	B	C	D	E
①定住促進ビジョンの推進	3	3	まちづくり産業課		3			
②過疎地域における移住・定住促進	1	1	八坂支所		1			
		1	美麻支所		1			
③都市との交流の促進	2	2	美麻支所		2			
④信濃大町ブランドの戦略的な展開	3	3	まちづくり産業課	1	2			
		2	企画財政課		1	1		
		1	観光文化課		1			
		1	建設課	1				
		1	上下水道課	1				
1	農林水産課		1					
施策： 4	小計	9	16	3	12	1	0	0
施策目標： 4 施策： 13	具体的施策項目計	46	70	5	58	7	0	0

第3 だれもが健康で安心して暮らせるまち				進捗状況評価				
1 健康で長生きできる社会の実現	項目数	評価数	担当課	A	B	C	D	E
①持続可能な地域医療体制確保に向けた病院経営の強化	2	2	大町病院	1	1			
②地域に密着した医療の提供	6	6	大町病院	4	2			
③安心して受けられる医療の確保	4	4	市民課	1	3			
			八坂支所		1			
		1	美麻支所	1				
④健康づくりの推進	5	5	市民課		5			
⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築	5	5	福祉課		5			
施策： 5	小計	22	24	7	17	0	0	0
2 だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進	項目数	評価数	担当課	A	B	C	D	E
①地域福祉の推進	10	10	福祉課	1	7	2		
			危機管理課		1			
②障がい者福祉の推進	3	3	福祉課		3			
③生活困窮者への支援の推進	2	2	福祉課		2			
④生きがい対策の充実	4	4	福祉課		4			
施策： 4	小計	19	20	1	17	2	0	0
3 結婚・出産・子育て支援の充実	項目数	評価数	担当課	A	B	C	D	E
①結婚支援の充実	1	1	まちづくり産業課		1			
②妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援	1	1	市民課		1			
			子育て支援課		1			
③子育て支援の充実	15	13	子育て支援課		11	2		
			市民課		4			
			生涯学習課		2			
			学校教育課		1			
		1	福祉課		1			
施策： 3	小計	17	24	0	22	2	0	0
4 市民生活の安全の確保	項目数	評価数	担当課	A	B	C	D	E
①災害に対する市民生活の安全の確保	10	10	危機管理課	8	1	1		
			市民課		1			
②災害に強いまちづくりの推進	5	4	建設課		4			
			危機管理課	1				
			上下水道課	1				
③交通安全対策の推進	4	4	市民課		4			
			建設課		1			
④消費生活相談の充実	2	2	市民課		2			
施策： 4	小計	21	24	10	13	1	0	0
施策目標： 4 施策： 16	具体的施策項目計	79	92	18	69	5	0	0

第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち				進捗状況評価				
1 自然と共生した環境の創造	項目数	評価数	担当課	A	B	C	D	E
①自然環境の保全と共生	7	4	生活環境課	2	2			
		1	建設課		1			
		2	山岳博物館		2			
②上水道・公営簡易水道の整備など水資源の保全と活用	5	5	上下水道課	5				
③安定した温泉の供給	3	3	上下水道課	2	1			
④自然や環境に関する学習の促進	2	1	生活環境課		1			
		1	企画財政課	1				
		1	生涯学習課		1			
施策：4	小計	17	18	10	8	0	0	0
2 暮らしやすい都市基盤の整備	項目数	評価数	担当課	A	B	C	D	E
①移動しやすい公共交通網の整備	3	2	情報交通課			2		
		1	八坂支所		1			
		1	美麻支所			1		
②魅力あるまちの形成に向けた都市計画の推進	4	4	建設課	1	3			
③調和と秩序ある都市計画区域・用途地域の設定	2	2	建設課		2			
④中心市街地の活性化	2	2	建設課		1	1		
		2	まちづくり産業課			2		
⑤都市構造を支える幹線道路網の構築・整備促進	5	5	建設課	2	3			
⑥潤いのある公園・緑地の整備促進	4	4	建設課	2	2			
⑦安全で快適な道路整備・維持管理	4	4	建設課	3	1			
		1	生活環境課		1			
施策：7	小計	24	28	8	14	6	0	0
3 快適な生活環境の形成	項目数	評価数	担当課	A	B	C	D	E
①廃棄物の適正な処理とリサイクルの推進	6	6	生活環境課	2	4			
②公害対策の推進	3	3	生活環境課	1	2			
③豊かな自然・文化と調和した景観の形成	3	2	建設課		2			
		1	農林水産課		1			
		1	八坂支所		1			
1	美麻支所		1					
④住宅環境の向上	3	3	建設課	1	2			
⑤下水道の整備と水洗化の促進	4	4	上下水道課	1	3			
⑥高度情報化社会への対応・DX推進	4	4	情報交通課	3		1		
施策：6	小計	23	25	8	16	1	0	0
施策目標：3 施策：17	具体的施策項目計	64	71	26	38	7	0	0

第5 市民の参画と協働でつくるまち				進捗状況評価					
1 市民の参画・協働と市民の視点に立った姿勢の推進	項目数	評価数	担当課	A	B	C	D	E	
①市民参画と協働によるまちづくりの推進	8	7	庶務課	2	4	1			
		1	生涯学習課		1				
		1	企画財政課		1				
		1	情報交通課		1				
②過疎地域での地域づくりの推進	3	1	企画財政課		1				
		2	八坂支所		2				
		1	美麻支所		1				
施策： 2	小計	11	14	2	11	1	0	0	
2 多様性に満ちた共生社会の実現	項目数	評価数	担当課	A	B	C	D	E	
①人権教育・啓発の推進	6	4	庶務課		4				
		3	生涯学習課		3				
②ユニバーサルデザインの推進	1	1	企画財政課		1				
		1	情報交通課		1				
施策： 2	小計	7	9	0	9	0	0	0	
3 市民との情報共有と持続的なサービス提供体制の構築	項目数	評価数	担当課	A	B	C	D	E	
①行政情報の積極的な提供	2	1	庶務課		1				
		1	情報交通課		1				
②情報通信技術を活用した市民サービスの向上	3	3	情報交通課		3				
③都市間交流と国際交流の促進	1	1	庶務課		1				
		1	美麻支所		1				
④広域連携の推進	2	2	企画財政課	2					
		1	観光文化課		1				
		1	建設課		1				
		1	情報交通課	1					
⑤健全で持続可能な財政運営	5	2	税務課		2				
		4	企画財政課	1	3				
⑥公共施設等の適正管理	2	2	企画財政課		2				
⑦職員の資質向上と育成	2	2	庶務課	1	1				
		1	企画財政課		1				
施策： 7	小計	17	23	5	18	0	0	0	
施策目標： 3 施策： 11	具体的施策項目計	35	46	7	38	1	0	0	
まちづくりのテーマ数： 5 施策目標数： 17 施策数： 74 具体的施策項目数： 286	合 計	286	359	評価数	65	271	23	0	0
				評価割合	18.1	75.5	6.4	0.0	0.0

事務事業 No.	年度	会計	会計名称	款	項	目	大事業	事業名称	主管課名称	今後の方向性
1	2024	1	一般会計	2	1	1	7	職員研修事業	庶務課	継続
2	2024	1	一般会計	2	1	8	2	市民活動促進事業	庶務課	継続
3	2024	1	一般会計	2	1	8	3	ひとが輝くまちづくり事業	庶務課	継続
4	2024	1	一般会計	2	1	1	11	人権政策費	庶務課	継続
5	2024	1	一般会計	2	1	10	1	男女共同参画推進費	庶務課	継続
6	2024	1	一般会計	2	1	3	6	アルプス圏基村推進事業	企画財政課	継続
7	2024	1	一般会計	2	1	3	8	ふるさと応援団事業	企画財政課	やり方改善
8	2024	1	一般会計	2	1	3	18	SDGs推進事業	企画財政課	やり方改善
9	2024	1	一般会計	2	2	1	2	賦課徴収費	税務課	継続
10	2024	1	一般会計	9	1	2	3	消防団運営経費	危機管理課	拡大
11	2024	1	一般会計	9	1	3	2	消防施設整備事業	危機管理課	継続
12	2024	1	一般会計	9	1	5	2	防災対策一般経費	危機管理課	継続
13	2024	1	一般会計	9	1	5	4	防災施設整備事業	危機管理課	拡大
14	2024	1	一般会計	2	1	2	2	広聴広報事業	情報交通課	継続
15	2024	1	一般会計	2	1	9	3	DX推進事業	情報交通課	継続
16	2024	1	一般会計	2	1	9	4	電算処理委託事業	情報交通課	継続
17	2024	1	一般会計	2	1	9	7	八坂・美麻CATV網光化対策事業	情報交通課	継続
18	2024	1	一般会計	2	1	9	13	ケーブルテレビ運営事業	情報交通課	継続
19	2024	1	一般会計	2	1	6	6	市民バス運行事業	情報交通課	継続
20	2024	1	一般会計	2	1	6	7	公共交通対策事業	情報交通課	継続
21	2024	1	一般会計	2	1	11	5	八坂地域振興事業	八坂支所	継続
22	2024	1	一般会計	7	1	3	10	八坂観光施設管理費	八坂支所	継続
23	2024	1	一般会計	2	1	11	8	八坂定住促進事業	八坂支所	継続
24	2024	1	一般会計	2	1	11	9	明日香荘管理運営費	八坂支所	継続
25	2024	1	一般会計	2	1	12	5	美麻地域振興事業	美麻支所	継続
26	2024	1	一般会計	2	1	12	6	مندシーノ交流事業	美麻支所	継続
27	2024	1	一般会計	2	1	12	12	美麻定住促進事業	美麻支所	継続
28	2024	1	一般会計	2	1	12	15	ぼかぼかランド美麻管理運営費	美麻支所	継続
29	2024	1	一般会計	6	1	5	2	ふたえ市民農園管理費	美麻支所	継続
30	2024	1	一般会計	6	1	5	3	おおしお市民農園管理費	美麻支所	継続
31	2024	1	一般会計	4	1	1	11	後期高齢者健診事業	市民課	やり方改善
32	2024	20	国保特別会計	6	1	1	1	特定健診・保健指導事業	市民課	継続
33	2024	1	一般会計	4	1	3	3	母子保健事業	市民課	継続
34	2024	1	一般会計	4	1	3	5	子育て世代包括支援センター事業	市民課	継続
35	2024	1	一般会計	4	1	4	1	健康増進事業	市民課	継続
36	2024	1	一般会計	4	1	4	2	がん検診事業	市民課	継続
37	2024	1	一般会計	4	1	4	7	精神保健事業	市民課	継続
38	2024	1	一般会計	4	1	2	1	予防接種費	市民課	継続
39	2024	1	一般会計	4	2	4	3	生ごみ等資源化推進事業	生活環境課	継続

事務事業 No.	年度	会計	会計名称	款	項	目	大事業	事業名称	主管課名称	今後の方向性
40	2024	1	一般会計	4	3	1	4	環境調査事業	生活環境課	継続
41	2024	1	一般会計	4	3	1	5	環境保全事業	生活環境課	継続
42	2024	1	一般会計	4	3	1	6	自然エネルギー活用推進事業	生活環境課	継続
43	2024	1	一般会計	3	1	1	4	総合福祉センター管理事業	福祉課	継続
44	2024	1	一般会計	3	1	1	5	市社会福祉協議会助成事業	福祉課	継続
45	2024	1	一般会計	3	1	2	8	その他障害者福祉サービス事業	福祉課	継続
46	2024	1	一般会計	3	1	3	1	高齢者福祉一般経費	福祉課	継続
47	2024	1	一般会計	3	1	3	4	高齢者福祉事業費	福祉課	継続
48	2024	1	一般会計	3	1	7	3	介護予防包括的支援事業	福祉課	継続
49	2024	1	一般会計	3	1	7	6	通所型介護予防事業	福祉課	継続
50	2024	1	一般会計	3	1	7	7	訪問型介護予防事業	福祉課	継続
51	2024	1	一般会計	3	1	7	8	介護予防普及啓発事業	福祉課	継続
52	2024	1	一般会計	3	1	7	10	家族介護支援事業	福祉課	継続
53	2024	1	一般会計	3	1	7	11	成年後見制度支援事業	福祉課	継続
54	2024	1	一般会計	3	1	7	12	地域自立生活支援事業	福祉課	継続
55	2024	1	一般会計	3	1	7	21	地域包括ケア実践事業	福祉課	継続
56	2024	1	一般会計	3	1	7	22	認知症総合支援事業	福祉課	継続
57	2024	1	一般会計	3	2	1	2	子育て応援一般経費	子育て支援課	継続
58	2024	1	一般会計	3	2	1	6	児童福祉扶助費	子育て支援課	継続
59	2024	1	一般会計	3	2	1	8	子育て支援等総合相談事業	子育て支援課	継続
60	2024	1	一般会計	3	2	1	9	療育事業	子育て支援課	継続
61	2024	1	一般会計	3	2	2	5	児童クラブ運営事業	子育て支援課	やり方改善
62	2024	1	一般会計	3	2	1	17	病児・病後児保育事業	子育て支援課	継続
63	2024	1	一般会計	3	2	3	2	保育所管理運営事業	子育て支援課	やり方改善
64	2024	1	一般会計	5	1	1	4	創業支援事業	まちづくり産業課	継続
65	2024	1	一般会計	7	1	1	4	中小企業支援事業	まちづくり産業課	継続
66	2024	1	一般会計	7	1	1	5	特産品振興事業	まちづくり産業課	継続
67	2024	1	一般会計	7	1	1	7	中心市街地活性化事業	まちづくり産業課	継続
68	2024	1	一般会計	2	1	3	7	定住促進事業	まちづくり産業課	継続
69	2024	1	一般会計	6	1	3	3	農業マーケティング事業	農林水産課	継続
70	2024	1	一般会計	6	1	3	11	有害鳥獣対策事業	農林水産課	継続
71	2024	1	一般会計	6	3	1	2	農業振興一般経費	農林水産課	継続
72	2024	1	一般会計	6	3	1	12	森林環境譲与税事業	農林水産課	継続
73	2024	1	一般会計	6	1	3	5	中山間地域等直接支払事業	農林水産課	継続
74	2024	1	一般会計	6	1	3	6	多面的機能支払事業	農林水産課	継続
75	2024	1	一般会計	6	1	3	10	園芸振興事業	農林水産課	継続
76	2024	1	一般会計	7	1	2	2	工業振興・企業誘致事業	産業立地戦略室	継続
77	2024	1	一般会計	7	1	2	3	工場等誘致振興助成事業	産業立地戦略室	継続
78	2024	1	一般会計	7	1	3	3	観光資源活用事業	観光文化課	やり方改善

事務事業 No.	年度	会計	会計名称	款	項	目	大事業	事業名称	主管課名称	今後の方向性
79	2024	1	一般会計	7	1	3	4	2次交通対策事業	観光文化課	やり方改善
80	2024	1	一般会計	7	1	3	5	仁科三湖振興事業	観光文化課	継続
81	2024	1	一般会計	7	1	3	6	広域観光推進事業	観光文化課	やり方改善
82	2024	1	一般会計	7	1	3	8	山岳観光推進事業	観光文化課	やり方改善
83	2024	1	一般会計	7	1	3	9	滞在型観光推進事業	観光文化課	やり方改善
84	2024	1	一般会計	2	1	13	1	芸術文化振興事業	観光文化課	やり方改善
85	2024	1	一般会計	8	4	1	3	おたんじょ桜事業	建設課	やり方改善
86	2024	1	一般会計	8	4	2	11	コンパクトシティ形成事業	建設課	継続
87	2024	1	一般会計	8	4	3	13	まちなかの緑地整備事業	建設課	継続
88	2024	1	一般会計	8	2	4	1	雪害対策事業	建設課	継続
89	2024	1	一般会計	8	4	3	1	公園管理事業	建設課	継続
90	2024	1	一般会計	8	2	2	1	道路維持管理事業	建設課	継続
91	2024	1	一般会計	8	2	2	2	交通安全施設整備事業	建設課	継続
92	2024	1	一般会計	8	2	3	2	道路新設改良事業	建設課	継続
93	2024	1	一般会計	8	4	3	10	仁科三湖周辺整備事業	建設課	継続
94	2024	1	一般会計	6	2	1	3	農業用施設管理事業	建設課	継続
95	2024	1	一般会計	8	3	1	1	水路維持改良事業	建設課	継続
96	2024	1	一般会計	8	4	4	3	住宅・建築物耐震化推進事業	建設課	継続
97	2024	1	一般会計	8	4	4	9	ゼロカーボン住宅推進リフォーム支援事業	建設課	継続
98	2024	1	一般会計	8	5	1	2	住宅管理費	建設課	継続
99	2024	92	温泉引湯会計	1	1	1	1	温泉引湯事業	上下水道課	継続
100	2024	1	一般会計	7	1	4	1	温泉供給事業	上下水道課	継続
101	2024	91	水道企業会計	1	1	1	6	水道事業	上下水道課	継続
102	2024	93	公共下水道会計	1	2	1	3	公共下水道事業	上下水道課	継続
103	2024	94	農業集落排水事業会計	1	2	1	1	農業集落排水事業	上下水道課	継続
104	2024	1	一般会計	4	2	1	6	合併処理浄化槽設置推進事業	上下水道課	継続
105	2024	1	一般会計	10	1	2	7	奨学金事業	学校教育課	やり方改善
106	2024	1	一般会計	10	1	2	10	コミュニティ・スクール推進事業	学校教育課	継続
107	2024	1	一般会計	10	1	2	11	ICT活用推進事業	学校教育課	継続
108	2024	1	一般会計	10	2	2	1	小学校教育振興一般経費	学校教育課	継続
109	2024	1	一般会計	10	3	2	1	中学校教育振興一般経費	学校教育課	継続
110	2024	1	一般会計	10	2	3	1	小学校再編環境整備事業	学校教育課	継続
111	2024	1	一般会計	10	4	1	4	エネルギー博物館運営費助成事業	生涯学習課	継続
112	2024	1	一般会計	10	4	1	5	公民館分館整備助成事業	生涯学習課	継続
113	2024	1	一般会計	10	4	2	1	補導見守り・環境整備事業	生涯学習課	継続
114	2024	1	一般会計	10	4	2	2	青少年育成事業	生涯学習課	継続
115	2024	1	一般会計	10	4	6	2	文化財保護一般経費	生涯学習課	継続
116	2024	1	一般会計	10	4	1	7	人権教育推進事業	生涯学習課	継続
117	2024	1	一般会計	10	4	3	4	大町公民館活動費	生涯学習課	継続

事務事業 No.	年度	会計	会計名称	款	項	目	大事業	事業名称	主管課名称	今後の方向性
118	2024	1	一般会計	10	4	5	3	文化会館公演事業	生涯学習課	継続
119	2024	1	一般会計	10	4	3	6	平公民館活動費	生涯学習課	継続
120	2024	1	一般会計	5	1	2	4	女性未来館ピュア運営事業	生涯学習課	継続
121	2024	1	一般会計	10	4	3	8	常盤公民館活動費	生涯学習課	継続
122	2024	1	一般会計	10	4	3	10	社公民館活動費	生涯学習課	継続
123	2024	1	一般会計	10	1	2	8	山村留学支援事業	生涯学習課	継続
124	2024	1	一般会計	10	4	3	12	八坂公民館活動費	生涯学習課	継続
125	2024	1	一般会計	10	4	3	14	美麻公民館活動費	生涯学習課	継続
126	2024	1	一般会計	10	4	4	3	図書資料購入事業	生涯学習課	継続
127	2024	1	一般会計	10	5	1	4	体育大会運営事業	スポーツ課	継続
128	2024	1	一般会計	10	5	1	5	スポーツ振興事業	スポーツ課	継続
129	2024	1	一般会計	10	5	2	2	体育施設整備事業	スポーツ課	継続
130	2024	1	一般会計	10	5	2	4	国民スポーツ大会施設整備事業	国民スポーツ大会準備室	継続
131	2024	1	一般会計	10	6	1	3	山岳博物館教育普及事業	山岳博物館	継続
132	2024	1	一般会計	10	6	1	4	山岳博物館調査研究事業	山岳博物館	継続
133	2024	1	一般会計	10	6	1	6	動植物飼育栽培繁殖事業	山岳博物館	継続
134	2024	1	一般会計	10	6	1	7	ライチョウ飼育事業	山岳博物館	継続
135	2024	1	一般会計	10	6	1	12	付属園整備事業	山岳博物館	継続
136	2024	95	病院事業会計	1	1	1	5	総合診療医育成事業	大町病院	事業完了

令和7年度事務事業評価票

方向性：「拡大(2)」「やり方改善(13)」「事業完了(1)」の事業を抽出

事務事業No.	7	担当課		企画財政課			
		事務事業名		ふるさと応援団事業			
会計	1	総事業費		278,600,839			
今後の方向性	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	評価点合計
やり方改善	3	1	3	3	2	3	15
現状把握と具体的な対応方針	<p>1 事業の現状と課題 返礼品の新規開拓や、寄附を取り扱うポータルサイトを拡充するなどの取組みにより、寄付額は年々増加している。また、ガバメントクラウドファンディングの取組みにおいては、事業趣旨に賛同いただき目標額を大きく超えて寄附が集まる事例もあり、事業のPRや財源の確保に繋がっている。</p> <p>2 問題点や課題等に対する具体的な対応方針 各市町村が財源確保のため様々に工夫を凝らしており、寄附金の獲得競争は以前厳しい状況にある。また、県内他市において産地を偽装していた問題が発覚するなど、ふるさと納税をめぐる国の規制は年々厳格化され、対応に苦慮している。ふるさと納税は寄附だけでなく、地域の特産品を多くの方に目にしていただける機会でもあることから、総務省の告示生まれ育った大町に貢献したい思いや大町出身ではないが大町を応援したい気持ちを尊重し、「大町らしさ」、「大町ならではの」特産品について幅広く提供する取組みを進めるとともに、新たな特産品について開拓を行う。ガバメントクラウドファンディングの取組みについては、実施事業に対する賛同を得ることが重要であることから、これまでの取組み事例を研究し、募集ページの作成方法や、寄附者に訴求するコメントの作成について検討を進める。</p>						

事務事業No.	8	担当課		企画財政課			
		事務事業名		SDGs推進事業			
会計	1	総事業費		7,776,760			
今後の方向性	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	評価点合計
やり方改善	3	2	3	1	2	2	13
現状把握と具体的な対応方針	<p>1 事業の現状と課題 令和2年7月にSDGs未来都市に選定され、至高の地域資源である「水」に焦点をあて、地域資源の磨き上げと掛け合わせによる「水を起点としたまちづくり」に取り組み、SDGsの達成に向けた地域課題の克服を目指した、SDGs未来都市計画「『水が生まれる信濃おおまち』サステナブル・タウン構想」を策定した。 また、恵まれた水資源を後世に残すために、当たり前前に感じられる水がもたらす恩恵やその水が生まれる自然環境に改めて焦点を当て、市民が水の価値を再認識していくとともに、今ある水資源を可視化・整理していく必要があり、地域の事業者等の積極的な参加を目指してきた。 この実現には、行政の力だけでは構築できないビジネスマッチングや着地型コンテンツづくり、認知度・魅力度を上げるため、多様のステークホルダーとの連携を図り、産学官金連携による推進プラットフォーム「信濃おおまち みずのわプロジェクト」を発足し、3年ごとのアクションプランを策定し具体的な取組みを実践している。</p> <p>2 問題点や課題等に対する具体的な対応方針 他事業と重複する事業内容が多いため、より事業効果の高い方策を検討の上事業を見直す。</p>						

事務事業No.	10	担当課		危機管理課			
		事務事業名		消防団運営経費			
会計	1	総事業費		43,547,340			
今後の方向性	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	評価点合計
拡大	3	3	3	3	3	3	18
<p>現状把握と具体的な対応方針</p> <p>1 事業の現状と課題 火災、自然災害、行方不明者捜索など、消防団員はいち早く出動対応することになるが、少子高齢などの社会情勢の変化に加え、市外就労者も増加していることから消防団員の在籍及び出動時の人員確保が困難な状況となっている。 訓練及び式典への参加を免除し、活動範囲を出動対応のみとする機能別団員として、50歳以上及び幹部経験者が残留、再入団する制度を設けているが、それらの団員数を含めても、条例定数は下回っている。</p> <p>2 問題点や課題等に対する具体的な対応方針 現状に即した団活動を維持していくため、令和4年度には消防団組織の再編、定数等について見直しを行い、令和5年度から新たな再編後の組織によりスタートしている。組織再編から2年が経過した事から、再編後の組織や活動の実態を検証し、課題の整理と改善に向けた取組みを進めていく。 各種イベントにおいて消防団活動のPRを行うなど、消防団の必要性と充実に向けた広報活動に取り組むほか、地域の防災行事への積極的な参加に併せて加入促進につなげていく。 様々な災害事案への出動時には、安全を確保しながらより効率的な現場対応が行えるよう、必要な装備品を検証し、配備・充実を図る。</p>							

事務事業No.	13	担当課		危機管理課			
		事務事業名		防災施設整備事業			
会計	1	総事業費		6,330,354			
今後の方向性	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	評価点合計
拡大	3	3	3	3	3	3	18
<p>現状把握と具体的な対応方針</p> <p>1 事業の現状と課題 自然災害は発生予測ができないことから、迅速かつ適正に対応するために、確実な情報伝達手段の確保、備蓄物資、資機材の更新及び充足を継続して行っていく必要がある。 現在の情報伝達手段としては、同報系防災行政無線や緊急メールがあるが、屋外放送が聞き取りづらいエリアがあり、緊急メールでは、事前に登録をしていなければメールが届かない等の課題がある。 備蓄物資や資機材は、必要量・必要数を確保するよう努めているが、用途・機能ごとの種類が膨大なため管理が煩雑になっている。</p> <p>2 問題点や課題等に対する具体的な対応方針 同報系防災行政無線のメンテナンスを継続して行うとともに、放送が聞き取りづらいとの報告が来ているエリアについては機器の更新や子局の配置変更について検討を進める。 備蓄物資は、県が策定した地震対策強化アクションプランの考え方に基づいた物資と、その量について確保に努めるとともに、使用（消費）期限や在庫をリスト化し、厳正な管理を行う。使用（消費）期限が切れそうなものから、順次定期的な更新及び補充を実施していく。また、災害時に必要となる資機材は、定期的な動作確認及びメンテナンスを行い、災害発生時であっても正常に使用できる状態を確保する。多様化する災害に備えるため、必要となる資機材等について精査検討を行い、整備を進める。</p>							

事務事業No.	31	担当課		市民課			
		事務事業名		後期高齢者健診事業			
会計	1	総事業費		14,447,924			
今後の方向性	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	評価点合計
やり方改善	3	3	2	3	2	2	15
現状把握と具体的な対応方針	<p>1 事業の現状と課題 国から後期高齢者医療広域連合への人間ドックの助成は廃止となったが、長野県後期高齢者医療広域連合による、健診に対する助成が継続されていることから、当市においても助成を継続している。 団魂の世代が後期高齢者医療保険に移行し、特定健診の対象者が増加していることから、受診者数自体は増えているが、全体としての受診率の向上が課題となっている。また、保健事業と介護予防の一体的実施事業についても、対象者が増加傾向にあるため、重点項目を精査しながら実施していく。</p> <p>2 問題点や課題等に対する具体的な対応方針 特定健診については、効果的な受診勧奨の方法を検討するとともに、ポピュレーションアプローチによる受診勧奨を行っていく。 保健事業と介護予防の一体化実施事業は、ポピュレーションアプローチでの健康教育や健康相談を充実させていく。予算管理部署（国保・年金係）と、事業実施部署（ポピュレーションアプローチは福祉課、ハイリスクアプローチは保健センター）が異なるため、職員間の連携が課題となっているが、担当者の会議を増やすなどの工夫を行い、密に連携を取っていく。</p>						

事務事業No.	61	担当課		子育て支援課			
		事務事業名		児童クラブ運営事業			
会計	1	総事業費		6,918,206			
今後の方向性	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	評価点合計
やり方改善	3	3	3	3	3	2	17
現状把握と具体的な対応方針	<p>1 事業の現状と課題 (1) 放課後や夏季等の学校の長期休暇の居場所として概ね安定した運営ができているが、支援員の高齢化や発達に課題のある児童の対応などに苦慮することもあり、児童を安全にお預かりするためには、支援員の資質向上や安定的な確保が課題となっている。 (2) 令和8年度の小学校再編に合わせ、旧大町地区の児童クラブの再編を予定しており、北小児童クラブは、北部小学校の校舎となる、旧第一中学校の2階に設けるため、令和7年度改修工事を実施する。また、南小児童クラブは、再編に伴い利用者数の増加が見込まれるため、クラブ室を増やす必要がある。 (3) 再編に伴い、自宅又は職場から児童クラブまでの距離が遠くなる可能性があるため、運営時間の拡大など提供体制の見直しの検討が必要となっている。</p> <p>2 問題点や課題等に対する具体的な対応方針 (1) 保育の研修会に参加するなど支援員の資質向上を図る。 (2) 支援員の確保については、随時募集を行う。 (3) 提供体制の見なおしについては、保護者会などで意見を伺い検討する。 (4) 南小児童クラブ室の拡張については、関係部署との調整を早期に行う。</p>						

事務事業No.	63	担当課		子育て支援課			
		事務事業名		保育所管理運営事業			
会計	1	総事業費		137,444,344			
今後の方向性	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	評価点合計
やり方改善	2	2	2	2	1	2	11
現状把握と具体的な対応方針	<p>1 事業の現状と課題 全国的な保育士不足により、保育士（特に会計年度任用職員）の確保が困難な状況にある中、未満児保育の需要が年々増加し、令和6年度末には124人の未満児（うち0歳児22人、1歳児47人）を受け入れており、待機児童を出さずに安心・安全な保育運営を行うことが困難な状況になりつつある。また、早朝、夕方の長時間保育に従事する職員が年々減少しており、標準時間（8：30～17：00）に勤務する職員が残業しなければ運営できない状況になっており、改善が必要と考える。</p> <p>2 問題点や課題等に対する具体的な対応方針 認定こども園との協議により、認定こども園で受入れができない0歳児及び1歳児については、保育所で重点的に受入れ、2歳児以上の児童を認定こども園でできるだけ受入れしてもらうなど、保育利用調整を実施する必要がある。保育利用調整を行う際には、保護者に説明会を実施し、広報等による周知を行った上で実施する。 また、保育士が確保できない中、現状の開所時間（7：30～19：00）を維持し、未満児に待機児童を出さないため、保育所のあり方を検討することは喫緊の課題であり、今年度、保育所等あり方検討委員会において検討する予定である。</p>						

事務事業No.	78	担当課		観光文化課			
		事務事業名		観光資源活用事業			
会計	1	総事業費		23,170,483			
今後の方向性	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	評価点合計
やり方改善	2	2	2	2	2	2	12
現状把握と具体的な対応方針	<p>1 事業の現状と課題 施設の維持管理については、経年劣化等により老朽化した施設も多く、緊急的な修繕対応や維持管理経費が増加傾向にある。 既存施設の環境美化に努め、お客様が気持ちよくご利用いただけるよう清掃業務を進めていく。 関係団体の活動支援の中で、特にSDGs学習旅行誘致協議会は、SDGs探究学習プログラムと合わせて、関東圏・関西圏への旅行エージェントに対し、教育旅行の誘致活動を実施。これきより、問合せ件数も増加傾向にある。これからの時代に即していることから、黒部ダムや市内の水を扱う飲料メーカー製造工場の見学など依頼が多くなっている。</p> <p>2 問題点や課題等に対する具体的な対応方針 今後は、各施設の状況等を把握するとともに、緊急性や有効性等を踏まえ、公共施設等総合管理計画との整合を図り、計画的な運用による適正な維持管理を進めていく。 特に繁忙期のトイレ汲み取りが追いつかないという事例があったことから、仮設トイレおよび既存トイレの汲み取り計画を早い段階から調整を進めていく。</p>						

事務事業No.	79	担当課		観光文化課			
		事務事業名		2次交通対策事業			
会計	1	総事業費		17,103,429			
今後の方向性	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	評価点合計
やり方改善	3	2	3	2	3	2	15
現状把握と具体的な対応方針	<p>1 事業の現状と課題 滞在型観光を促進していくためには、市内および広域的な二次交通の整備・拡充が求められるとともに、来訪者の動向や利用実態を把握した上での事業展開が重要である。周遊バス「信濃大町ぐるりん号」は、令和5年度の北アルプス連携自立圏地域間産業連関表業務において一定の評価を得ており、今後、当該路線を活用した二次交通の維持と、効果的な移動を可能とする仕組みの構築が求められる。</p> <p>2 問題点や課題等に対する具体的な対応方針 「信濃大町ぐるりん号」等で使用していたボンネットバスは、車体の老朽化等に伴い、今後の維持管理費用の増加が懸念されることから、令和6年度の運行で終了し公共資産売却オークションを通じて売却とした。 これまで定時・定路線による運行であったが、利便性の向上や効率的な運行を目指すため、利便性の間やA I オンデマンド交通による運行を行なう。</p>						

事務事業No.	81	担当課		観光文化課			
		事務事業名		広域観光推進事業			
会計	1	総事業費		15,746,131			
今後の方向性	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	評価点合計
やり方改善	3	2	3	2	2	3	15
現状把握と具体的な対応方針	<p>1 事業の現状と課題 広域連携による国内旅行者の誘致においては、少子高齢化による人口減少が続く中、地域への安定的な集客のためには、リピーターの獲得が重要となる。 訪日外国人旅行者の滞在は期間も長く、県境等に関わらず移動距離も長いことから、市内の宿泊滞在はもちろんのこと、当市を起点とした周辺観光地との連携した観光商品の開発・造成が必要。一方で訪日外国人旅行者の急増により、観光地やその周辺地域では、地域住民との間で騒音や交通渋滞、生活環境や治安に関する不安など、オーバーツーリズムの影響は都市部に限らず県内の地域にも及んでいる。</p> <p>2 問題点や課題等に対する具体的な対応方針 広域連携を通じて観光客数の適正化や、持続可能な観光の推進を進め、地元住民と観光業者等が協力し合いながら、地域全体で取り組むことが不可欠である。 また、組織によっては事業内容を圧縮させるなど、見直しを求めるべき案件については次年度以降に向けて積極的に提案していく。</p>						

事務事業No.	82	担当課		観光文化課			
		事務事業名		山岳観光推進事業			
会計	1	総事業費		11,673,148			
今後の方向性	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	評価点合計
やり方改善	3	2	2	2	2	3	14
現状把握と具体的な対応方針	<p>1 事業の現状と課題 登山環境の整備は、各山小屋が人材や金銭的な負担をし実施をしているが、山小屋の負担軽減につながるよう、金銭面の支援として登山道改修事業補助金の交付及び登山道整備謝礼を支給している。一方で、人材確保は深刻な課題となっており、山小屋によっては、外国人労働者を雇用するなど、対応に苦慮している。安全な登山には登山道整備が欠かせないが、持続可能な整備をしていくために、環境省中部山岳国立公園管理事務所の呼びかけにより、大田市、白馬村、小谷村、糸魚川市の行政と山小屋関係者等で組織する北アルプス北部山域連絡会において、「北アルプストレイルプログラム」の導入に向けた協議を進めている。「裏銀座登山バス」は2年目を迎え、登山・トレッキングの人気の高まる中、さらに利便性を高めていく必要がある。</p> <p>2 問題点や課題等に対する具体的な対応方針 山岳関係者との連携をより強化し、登山環境の整備・継続するとともに国・県の助成制度等を活用し、財源確保を検討していく。また、「北アルプストレイルプログラム」の導入に向けた継続して取り組んでいく。「裏銀座登山バス」の運行日数を10日増便し、利便性を高めていく。予算規模については増便により利用者が増える分、運賃収入が増加するため、次年度予算は今年度と同規模で実施を見込んでいる。</p>						

事務事業No.	83	担当課		観光文化課			
		事務事業名		滞在型観光推進事業			
会計	1	総事業費		60,380,783			
今後の方向性	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	評価点合計
やり方改善	3	2	3	2	3	3	16
現状把握と具体的な対応方針	<p>1 事業の現状と課題 大規模な周年イベントは成功裏に終了した一方で、訪日外国人観光客の増加に伴い、市内では新規事業者の参入やインバウンド需要の高まりが期待されるものの、こうした一過性のイベントに頼らず、持続的に観光客を呼び込む体制の構築が求められている。既存の観光資源を活用しつつ、新たな体験価値を提供できるプロモーションの展開が課題であり、立山黒部アルペンルート麓に眠る潜在的な観光コンテンツをいかに掘り起こし、地域全体としての観光価値の底上げを図るかが、今後の重要な課題となる。</p> <p>2 問題点や課題等に対する具体的な対応方針 雨天時も楽しめる観光コンテンツの磨き上げや、信濃大町駅周辺および地域資源の魅力発信、市内交通や宿泊と連動した旅行商品の造成・販売促進により、観光客の満足度向上と市街地への誘導を図るとともに、立山黒部アルペンルートと組み合わせることで、より魅力的な観光地となることを目指した取り組みを進めていく。</p>						

事務事業No.	84	担当課		観光文化課			
		事務事業名		芸術文化振興事業			
会計	1	総事業費		130,853,484			
今後の方向性	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	評価点合計
やり方改善	2	2	2	2	2	2	12
現状把握と具体的な対応方針	<p>1 事業の現状と課題 芸術祭の開催にあたり、作品製作からサイト運営、作品撤去まで、市民の皆様や実行委員会構成団体員にお手伝いを頂いた。課題であった市職員の負担軽減については、「アート担当」や「エリア担当」といった本部要員を事務局にて担ったほか、毎週水曜日の定休日を設ける、業務時間内の活動となるようサイト終了時間を30分前倒す、といった工夫を重ね、前回の約60%程度（延べ1,590名程）と人員を抑えた。しかしながら、職員アンケートでは「職員の負担が大きい」という意見もあり、引き続き負担軽減に向けた工夫が必要であるが、マンパワー確保は最大の課題であると考えている。</p> <p>2 問題点や課題等に対する具体的な対応方針 シニア層を中心に、大勢の地域の方にサイト運営を担って頂いたほか、八王子神社や佐々屋幾神社、ラーバン中綱など、地域の方々が愛着を持ち管理されている場所をお借りできたことは、理解や協力の輪が徐々に広がっているものと捉えており、芸術祭等を契機とした芸術文化の振興により、地域の活力やひとづくりが進んでいるものと考えている。 より多くの市民参加が得られるよう、地域協創セミナーなどを継続的に取組みながら、さらなる人材の育成・確保等に努めていく。また、あらゆる省庁の動向を見ながら、準備段階から補助金等の確保に取り組むとともに、民間助成やクラウドファンディングなど多方面へ資金確保に向けて積極的にチャレンジすることにより、一般財源への負担軽減に努めていく。</p>						

事務事業No.	85	担当課		建設課			
		事務事業名		おたんじょ桜事業			
会計	1	総事業費		1,392,105			
今後の方向性	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	評価点合計
やり方改善	2	2	3	2	2	2	13
現状把握と具体的な対応方針	<p>1 事業の現状と課題 平成12年の「おたんじょ桜の里づくり条例」制定から現在に至るまで、小学生等を招いての植樹会により、年に7～8本程度の植樹を継続して実施し、市内8箇所の植樹会場へ、累計417本の桜を植樹している。民間の参画による緑化の推進等は、一定の実績をあげてきているが、「桜の名所」づくりの観点においては成果が不十分であることは否めない。また近年は、児童数の減少や、植樹会場の確保の問題により、植樹会の運営が難しくなりつつある。事業の趣旨でもある、「桜の名所づくり」に立ち戻り、事業の見直しを検討する必要がある。</p> <p>2 問題点や課題等に対する具体的な対応方針 令和8年度以降の学校再編に合わせ、景観・観光資源としての「桜の名所づくり」に焦点を絞った事業内容へ移行するため、実行委員会へ諮りつつ、検討を進めている。具体的には、毎年の児童を招いての植樹会の開催を取りやめ、適切な場所へ桜の一斉植樹を実施することにより、将来的に景観形成、観光資源、市民の憩いの場となり得る桜の名所を創出していきたいと考えている。植樹場所については検討中であるが、今後検討委員会や市議会、関係者の意見などを伺いながら、選定に向け取り組んでいきたい。また、「おたんじょの里づくり実行委員会」の体制やあり方についても、併せて検討していく必要がある。</p>						

事務事業No.	105	担当課		学校教育課			
		事務事業名		奨学金事業			
会計	1	総事業費		0			
今後の方向性	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	評価点合計
やり方改善	2	1	2	1	2	2	10
現状把握と具体的な対応方針	<p>1 事業の現状と課題 公的機関である日本学生支援機構や、大学などが独自に実施している奨学金制度が充実してきており、利用者が増加傾向にある一方で、当市の奨学金制度に対する市民のニーズは低くなってきている。また、県では地元県内企業と連携した新たな支援制度を構築しその活用の促進を図っている。 当市では29年度から貸与型の奨学金制度に加え、地元に戻ることなどの要件を満たした場合、償還を免除する特別奨学金制度の運用を始めるなど、制度の拡充を図ってきたが、なかなか利用促進に繋がっていない現状である。</p> <p>2 問題点や課題等に対する具体的な対応方針 奨学金制度の貸与額や貸与条件等、現在の経済状況を勘案した中で、検証する必要があると思われる。 特別奨学制度は定住対策の側面もあったが、今後は、地域人材確保に資することを目的に、県が実施している奨学金返還支援制度の導入なども検討する必要があると思われる。</p>						

事務事業No.	136	担当課		大町病院			
		事務事業名		総合診療医育成事業			
会計	95	総事業費		21,000,000			
今後の方向性	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	評価点合計
事業完了	2	2	2	2	2	2	12
現状把握と具体的な対応方針	<p>1 事業の現状と課題 平成25年度から開始した当該事業は、徐々に内容が充実してきており、当院の内科診療の中核を担うとともに、救急医療や訪問診療、往診といった在宅医療にも取り組み、地域医療に貢献している。 患者の高齢化に伴い複数の疾患を有する患者が増加している状況にあり、総合診療科の診療体制の拡充と併せ、専門医との連携による診療体制をさらに充実していく必要がある。</p> <p>2 問題点や課題等に対する具体的な対応方針 医師不足病院においては、臨床研修の充実が医師確保に有効であり、基幹型の初期研修とともに、平成29年10月に認定された「総合診療専門研修プログラム」を広報、宣伝し専攻医を確保する。 総合診療科医師による研修医向けのイベント等においても、充実した臨床研修の実施をアピールし、研修医の獲得に繋げる。なお、本事業は引き続き信州大学医学部附属病院との連携を図りながら、令和7年度から直営化して実施する。</p>						